

# 幻の名作、13年ぶりに絵本になる！



近代、全道に亜麻工場。淡い青紫の亜麻の花畑は、北海道の初夏の風物詩だった。

明治から昭和にかけて、亜麻栽培は北海道の大事な換金作物でした。全道に80を超える亜麻工場がありました。それが昭和40年代には全く消え去り忘れ去られました。

少年は夏休み、おばあちゃんから亜麻工場の話聞きます。それはまた、働くことの美しさをシャワーのように浴びることでもありました。

この物語を、大澤勉の美しい水彩画が彩ります。大澤勉は、当別の花卉農家であり孤高の水彩画家でもあります。13年前に出来あがっていた原作と絵が今よみがえります。

子どもたちに語りかけてあげたい美しい絵本です。

清水 三喜雄・作 / 大澤 勉・絵 / 荒川 顕・写真

『亜麻の花咲く村』（定価1,500円 A4判・39頁 ギャラリー北のモンパルナス発行）

## 絵本『亜麻の花咲く村』注文書

絵本『亜麻の花咲く村』 定価 1,500円（送料310円）

絵本 / 冊注文します。

郵便番号

住所

氏名

電話番号



注文先 『当別新聞以後』企画室

（〒001-0021 札幌市北区北21条西8丁目2-20-604）

携帯電話 090-5985-4407